第33回（2019年度）

中小企業懸賞論文

募集要項

趣旨	中小企業の調査研究に対する助成事業の一環として募集を行います。
テーマ	次の4テーマから1テーマを選択してください。 **産業部門** ①インバウンド需要の拡大と中小企業の発展戦略 視点 拡大するインバウンド需要を中小企業の発展につなげるためにはどのような戦略を講じれば良いか ②中小企業における働き方改革 視点 人材確保や生産性向上など中小企業が抱える課題の解決に役立つ働き方改革とは何か **金融部門** ①事業性評価融資による中小企業金融の新たな展開 視点 多くの金融機関が事業性評価融資に注力する中、どのような取り組みが中小企業の発展につながるか ②金融機関によるスタートアップ企業支援 視点 スタートアップ企業の登場が期待される中、金融機関による効果的な支援策は何か ※上記の視点は一例です。論文作成にあたってはこれに捉われず自由に論じていただいて差し支えありません。
応募資格	学生、中小企業関連の実務に携わっている方など中小企業・中小企業金融問題に関心のある方であればどなたでも応募できます。グループによる応募も可能です。但し、後期博士課程の大学院生を含む経済・経営・金融等の研究者は応募できません。
表彰	本賞：賞金30万円を贈呈します（5点以内） ＊特に優れた作品がある場合には特賞として賞金50万円を贈呈します（2点以内）。 ＊本賞に準ずる作品には準賞として賞金15万円を贈呈します。
審査委員	次の委員で構成する審査委員会で審査します（敬称略）。 【委員長】一橋大学名誉教授　清水　啓典 【委　員】一橋大学大学院教授　岡室　博之 【委　員】名古屋大学大学院教授　山田　基成 【委　員】同志社女子大学教授　加藤　敦 【委　員】専修大学教授　鹿住　倫世 【委　員】中小企業基盤整備機構理事　山本　雅亮 【委　員】日本商工会議所理事事務局長　青山　伸悦 【委　員】全国中小企業団体中央会政策推進部長　大利　滋 【委　員】商工組合中央金庫産業調査部長　河辺　尚昭 【委　員】商工総合研究所専務理事　清水　謙之
応募期間	2019年8月1日（木）～10月15日（火） （郵送の場合：締切日消印有効、E-mailの場合：締切日受信分まで）
発表	2020年2月（予定）に当財団ホームページおよび日本経済新聞紙上に発表するほか、受賞者には個別に連絡します。 また、当財団機関誌「商工金融」2020年3月号に選評および本賞作品全文を掲載します。
応募規定	• 応募論文は日本語で書かれた未発表のものに限ります。 • 「応募用紙」「要旨」「目次」「本文」「参考文献」の順番にまとめ、全体にわたって一連のページ番号を付けてください。 • 「応募用紙」は当財団ホームページにある所定の様式を使用し（**https://www.shokosoken.or.jp/commendation/**）、選択したテーマなどを記入してください。 • 「800字程度の要旨」と「目次」を作成してください。 • 「本文」はA4横書き（40字×30行）で8枚以上10枚以内（9,600字以上12,000字以内）とします（応募用紙・要旨・目次・図表・参考文献は含みません）。統計数値、図表、文章等の引用、参照した文献等については注釈または末尾に「参考文献」欄を設け出所を明記してください。 • メールで応募する論文はマイクロソフト社Wordを使用してください（PDFでの応募は不可）。 • 受賞論文の著作権は当財団に帰属します。 • 応募にあたり取得した個人情報は審査に伴う通知のみに利用します。但し、受賞者の氏名、勤務先・部署・職位（学生は学校名・学部・学年）は日本経済新聞紙上、当財団ホームページ・機関誌に掲載します。また、授賞式の模様は当財団ホームページに掲載することがありますので、予めご了承ください。
応募先	応募については当財団ホームページの「表彰」ページをご覧ください。 （https://www.shokosoken.or.jp/commendation/） ＊受領の連絡は、メールでの応募分にはメールで、郵便での応募分は郵便で差し上げます。 万一、応募後１週間が経過しても連絡がない場合には、下記のお問合せ先までお電話いただきますようお願いします。

お問合せ：一般財団法人 商工総合研究所　専用ダイヤル 03（5875）8907（土・日・祝日を除く 9～17時）

＊商工総合研究所は、商工中金創立50周年記念事業の一環として設立され、中小企業に関する調査研究事業・助成事業・情報提供事業を行っています。